

敬和学園大学 2022 年度活動報告集計

敬和学園大学

図書館・研究所・紀要委員会作成

本集計は、敬和学園大学人文学部 国際文化学科、英語文化コミュニケーション学科、共生社会学科、教員 30 名の「2022 年度 教育活動・研究活動・社会貢献報告書」に基づく研究活動及び社会貢献活動についての一覧である。

1. 研究活動

			三学科合計件数
著書	単著		3
	共著		3
	編著		0
論文	単著	査読有り	1
		査読無し	13
	共著	査読有り	2
		査読無し	8
翻訳			0
その他			6
学会発表 口頭発表	招待		7
	個人発表		9
研究資金	件数		17
	金額		4,381(千円)

2. 社会貢献

	三学科合計件数
講演・公開講座	28
学会等	11
国の審議会等委員	2
地域社会の審議会等委員	73

3. 考察

研究活動の項目では、2022年度は著書で単著が3件、共著が3件と、2021年度よりも活動状況が向上した。論文では、単著「査読無し」13件、共著「査読無し」8件と、これについても比較的好調であった。単著「査読有り」は1件、共著「査読有り」は2件の成果であった。「査読有り」の論文に積極的に挑戦してほしい。

2022年度の研究資金獲得は、総計17件であり、比較的件数の多かった2021年度の24件を下回ったものの、2020年度の16件と同程度の成果であった。図書館・人文社会科学研究所・紀要編集委員会としても情報の周知等さらなる応援の強化を図りたい。

社会貢献の項目では、講演会、公開講座の回数が2021年度の35件から2022年度は28件に減ったものの、2020年度の13件と比較すると増加している。コロナ禍が収束に向かいつつあるなかでの健闘した結果として喜ぶたい。

「地域社会の審議会等委員」の件数は、本学の特徴の一つである積極的な地域貢献を証左するものである。21年度の38件から、22年度は73件に伸び、これもコロナ禍前の2020年度の76件に接近しており、地域貢献活動が回復の兆しをみせているものと思われる。